

令和6年度「みやぎ発展税」の活用実績と成果【概要版】

I 「みやぎ発展税」(法人事業税の超過課税)の概要

令和5年3月から5年間と定めている現在の第4期課税期間においては、「新・宮城の将来ビジョン」(R3～R12)の実現や、デジタル・トランスフォーメーション(DX)、激甚化する自然災害などの新たな課題に積極的に対応しています。

こうした中、令和6年度には、「みやぎジョブフェア in インドネシア」の開催及び「大崎市立おおさき日本語学校」の開校に向けた支援などによる外国人材受入の促進や、県内の中小ものづくり企業の特色や魅力を学生向けに発信し、大卒人材の県内就職や県内定着につなげることを目的とした産学官連携の組織である「ものづくりカレッジ」の設置など、産業人材の育成・確保を強く意識しながら取組を進めました。



＜「ものづくりカレッジ」開学式＞



＜新たに開校した大崎市立おおさき日本語学校＞

課税期間	第1期：H20.3月～H25.2月 第2期：H25.3月～H30.2月 第3期：H30.3月～R5.2月 第4期：R5.3月～R10.2月 (いずれも5年間)
超過税率	「みやぎ発展税」導入時の宮城県県税条例第41条(法人事業税)に定める税率(＝標準税率)の5%相当額
適用法人	資本金又は出資金の額が1億円を超える法人、若しくは所得が年4千万円(収入金額の場合、年3億2千万円)を超える法人等
活用の基本的な考え方	産業振興パッケージ： 県経済の成長を図るための産業振興に関する施策 災害対策パッケージ： 大規模な災害による被害の最小化に関する施策 ※第3期までは震災対策パッケージ

令和6年度「みやぎ発展税」の活用実績と成果【概要版】

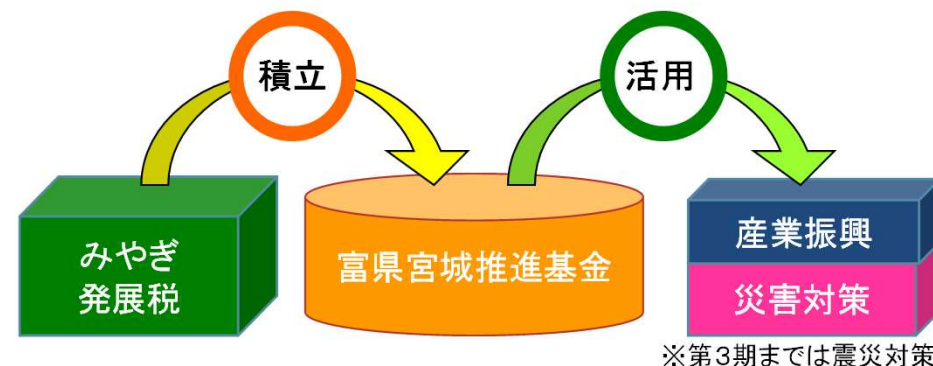
Ⅱ 富県宮城推進基金の概要

▽ 富県宮城推進基金に積み立ててから活用することで、その税収額及び用途を明確化

【基金の積立額と活用額】

(単位: 億円)

	第1期	第2期	第3期	第4期 (R5・R6)	合計
積立額:A	157.7	228.1	251.8	110.8	748.5
活用額:B	64.6	162.6	234.3	121.2	582.7
A-B	93.1	65.5	17.5	▲10.3	165.8 (41.9)※



○ 各項目ごとに1千万円未満を四捨五入しているため、合計額とは合致しない

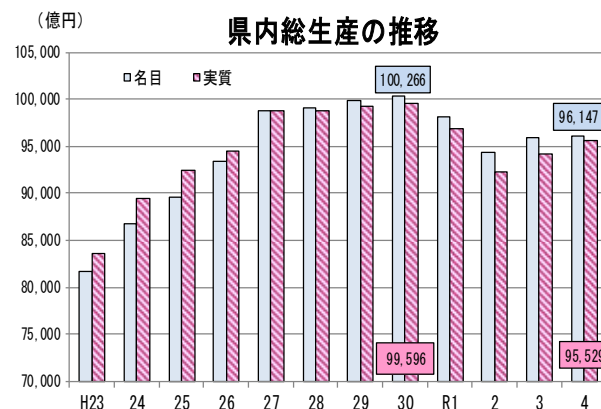
○ ※の41.9億円は、令和6年度末の基金残高(約165.8億円)から、企業立地奨励金の今後支出見込額(約123.9億円)を減じたもの

Ⅲ 県内総生産の推移

< 県内の経済情勢 >

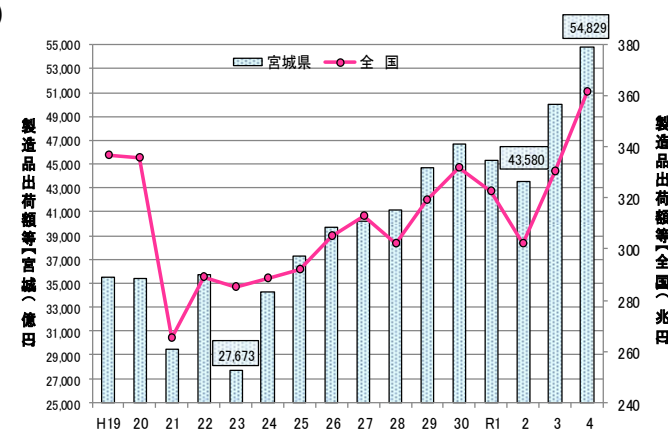
◆ 県内総生産(名目・実質)

・ R4の県内総生産は、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みからの持続的な回復により、昨年度に引き続き、名目、実質ともに対前年比プラスとなりました。



◆ 製造品出荷額等

・ R4の製造品出荷額等は、前年に続き順調な伸びを見せ、2年連続で過去最高額を記録しました。なお、発展税導入以降の製造品出荷額等の伸び率は54%で、都道府県の中で最も高い値となっています。(全国平均: 7%)



令和6年度「みやぎ発展税」の活用実績と成果【概要版】

Ⅳ パッケージごとの実績と成果

産業振興・災害対策パッケージ合計 [R6活用額:約69億6千万円] [※H20～R6活用額合計:約583億円]

1 産業振興パッケージ [R6活用額:約68億4千万円] [※H20～R6活用額合計:約555億円]

(1) 企業集積促進

[R6活用額:約39億4千万円]

▽ 企業立地奨励金をはじめとする積極的な企業誘致施策を展開し、新たな立地や地元企業の工場の増設等が進捗したほか、半導体関連産業の誘致・集積に向けた取組方針を策定しました。

◆「みやぎ企業立地奨励金事業」

(実績・成果等)

- ・交付件数:18件[R6]
- ・立地件数:239社[H21～R6累計]
- ・奨励金による新規雇用者数:29,743人[R7.4現在]

◆「企業誘致活動強化事業」

(実績・成果等)

- ・半導体産業の誘致・集積等に関する県の基本的な方針である「みやぎ半導体産業振興ビジョン」の策定・公表[R6]

(2) 技術高度化支援

[R6活用額:約5億1千万円]

▽ 県内中小企業の競争力強化のため、技術力や研究開発力、営業力等の向上を支援し、取引の創出・拡大につなげました。

◆「新規参入・新産業創出等支援事業」

(実績・成果等)

- ・交付件数:12件[R6]
- ・実用化・商品化件数:24件[H27～R6累計]

◆「放射光施設利用促進事業」

(実績・成果等)

- ・「放射光利用実地研修」の開催:14回 [H26～R6累計]
- ・教育機関(高等学校等)のナノテラス利用:3校[R6]

(3) 中小企業・小規模事業者活性化

[R6活用額:約4億6千万円]

▽ 中小企業・小規模事業者の持続的発展・成長に向け、デジタル化を含む生産性改善支援や創業・第二創業の加速化に向けた取組を推進しました。

◆「中小企業等デジタル化支援事業」

(実績・成果等)

- ・アドバイザー派遣:571回[R6]
- ・交付件数:112件 [同上]

◆「テック系スタートアップ成長支援事業」

(実績・成果等)

- ・テクスタ宮城の設置・運営[R5～6]
- ・個別マッチング数:96件[R5～6累計]
- ・支援対象数及び構成員数:166者 [同上]

(4) 人材育成促進

[R6活用額:約3億8千万円]

▽ 産業界から大学、高校まで一体となり、実践的な研修やものづくり産業等の認知度の向上などの取組を実施し、即戦力となる人材等を育成しました。

◆「外国人材受入体制モデル構築事業」

(実績・成果等)

- ・奨励金の交付:1件(大崎市立おおさき日本語学校) [R6]

◆「半導体人材育成・産学連携推進事業」

(実績・成果等)

- ・半導体PR冊子の作成及び配布[R6]
- ・半導体人材育成関係機関連絡調整会議の開催[同上]
- ・高校教員向け半導体研修会の開催[同上]
- ・小中学生向けイベントの開催:[同上]

令和6年度「みやぎ発展税」の活用実績と成果【概要版】

Ⅳ パッケージごとの実績と成果

産業振興・災害対策パッケージ合計 [R6活用額:約69億6千万円] [※H20～R6活用額合計:約583億円]

1 産業振興パッケージ [R6活用額:約68億4千万円] [※H20～R6活用額合計:約555億円]

(5) 人材確保支援

[R6活用額:約1億4千万円]

▽ 企業の外国人材確保支援や、人材の県外流出抑制、県内への還流促進に取り組み、企業の人材確保を支援しました。

◆「外国人材現地ジョブフェア事業」

(実績・成果等)

- ・「みやぎジョブフェアinインドネシア」参加企業数:46社[R6]
- ・参加企業への就職を支援したインドネシア人:146人[同上]

◆「ものづくりカレッジプロジェクト推進事業」

(実績・成果等)

- ・開学式、企業説明会等:ものづくり企業数延べ75社及び参加学生数延べ1,165人[R6]

(6) 地域産業振興促進

[R6活用額:約14億1千万円]

▽ 地域経済を支える商業の振興や農林水産業の競争力強化を図り、新たな課題等に対しても機動的に事業を展開しました。

◆「ものづくり海外販路開拓支援事業」

(実績・成果等)

- ・県産工芸品テストマーケティングの実施:24社[R6]

◆「地域ポイント等導入支援事業」

(実績・成果等)

- ・「みやぎ防災」アプリの登録者数:約62万人[R6]
- ・「みやぎポイント」消費額:約18億円(国庫等を含む)[同上]

2 災害対策パッケージ [R6活用額:約1億2千万円] [※H20～R6活用額合計:約28億円]

(1) 災害に対応する産業活動基盤の強化

[R6活用額:約4千万円]

▽ 多くの県民が利用する施設の耐震化を推進するなど、災害時における県民生活の安全と経済活動の確保を図りました。

◆「小学校スクールゾーン内ブロック塀等除却助成事業」

(実績・成果等)

- ・交付件数:25市町96件[R6]
- ・H30の県等の調査で「除却が必要」と判定されたブロック塀のうち改善されたもの:242箇所[R1～6累計]

(2) 防災体制の整備

[R6活用額:約8千万円]

▽ 防災体制の充実に向け、東日本大震災などの大規模な災害の教訓を生かし、地域の防災対策の中心となる人材の養成等を実施しました。

◆「地域防災リーダー育成等推進事業」

(実績・成果等)

- ・地域防災リーダー養成講習
地域防災コース:544人受講・企業防災コース:41人受講[R6]
養成講習等受講者数:10,386人[H21～R6累計]



むすび丸
半導体バージョン